

(2) 巨木の内訳

表一5 は、都道府県別の巨木本数（未更新データ・更新データ・新規データ）である。全国で測定され、報告された巨木の総数は 64,479 本であり、巨木の存在が記録された市町村数は全国で 2,882 に及んだ。この間、市町村合併等もあり単純には比較できないが巨木が確認された市町村が 62 増えたことになる。

※前回調査で巨木があると報告された市町村数 2,819 + 今回新たに巨木が確認された市町村数 62 = 2,882

表一6 は、樹林・並木における測定本数（調査票の提出された巨木の本数）以外の林全体の巨木の実測及び推定本数を示した。実測本数約 3,000 本、推定本数約 21,000 本には、前回調査の推定本数約 68,000 本との重複本数も含まれると想定され、この点を勘案してわが国の巨木の本数は約 132,000～156,000 本程度と推測される。

※ $64,000 + 68,000 = 132,000$ $64,000 + 3,000 + 21,000 + 68,000 = 156,000$

「推定本数」の算出にあたり、幅のあるデータについては、中間値におきかえ、並列記入については、最初の数字を選択した。

例：「6～8 本」は 7 本、「1,200～1,600 本」は 1400 本、「2,3 本」は 2 本とする。

表一5 から、測定巨木本数のが 3,000 本を超える県は、茨城県、東京都で、2,000 本を超える県は、岩手県、栃木県、千葉県、新潟県、長野県、静岡県であり、前回同様に関東地方で測定数の多い傾向は変わらない。

表一7 は、市町村別の測定巨木本数の上位 100 位であるが、上位 3 位はいずれも山間部の巨木林の調査結果が報告されたものである。また新規データの本数で 5 位に都市部の東京都世田谷区が位置しているのは注目される。なお、島根県大東町・茨城県常陸太田市などのように未更新データがあるものの追跡調査票の返送がなく、新規調査票が提出されている場合には未更新データと新規データの重複があるものと推測されるので注意されたい。

表一8 に、実測された巨木の樹種別の本数を前回調査の上位 50 種（今回は 48 種に相当）について集計し、その結果の比較を示す。

実測された巨木のうち最も多かったのはスギであり（14,869 本）、次いでケヤキ（9,452 本）、クスノキ（5,926 本）、イチョウ（4,855 本）、スダジイ（4,830 本）の順で、前回と順位は変わらなかった。以下、タブノキ、マツ、ムクノキ、モミ、エノキ、ミズナラ等の樹種があがっている。

いずれの樹種も本数が増えているが、今回の調査で特に大幅に増えたのは、スギとスダジイである。

なお、唯一本数が減ったのはマツで、後出の枯死・伐採等で無くなった巨木の本数をみるとマツは 226 本もある。

全データを樹種別に整理したところ約 550 種であった。しかし、表一8 でもサクラとエドヒガン・ヤマザクラ・ソメイヨシノが見られるように、属と種が明確に区分されていなかったり、地域固有の呼び名や明らかな間違い等も含まれていた。

表一9 は、今回の調査で調査票の提出を求めた、樹齢を重ねても幹周 300cm 以上に育たない、あるいは育ちにくい樹種である「幹周 300cm 以下の巨樹の仲間」である。

前回のデータをみたところ、未更新データ、更新データに幹周（株立ちの場合は主幹の最大値）300cm 以下のものがそれぞれ 146 本、234 本の計 380 本、156 種があった。なお、新規データでは、この「巨

樹の仲間」の定義を誤解されたのか、幹周 300cm 以下のクスノキ 43 本やケヤキ 23 本なども含めて計 523 本の調査票が提出された。

これらの未更新データ・更新データ・新規データのうち、計測マニュアルに挙げた「巨樹の仲間」に該当したものは、幹周 1m 以上を対象としたものが 12 種 30 本、幹周 2m 以上を対象としたものが 41 種 141 本であった(表 3-9ab)。該当する本数とその幹周の最大値を整理した。なお、これらの樹種で幹周 300cm 以上の巨木の有無を見たところ、無しが 16 種で、有りが 37 種であった。

表一５ 都道府県別巨木本数

都道府県名	全市町村数	巨木有り 市町村数*	割合	単木測定数	樹林測定数	並木測定数	無回答	測定巨木 総数**
				本	本	本	本	本
北海道	212	128	60%	537	332	9	0	878
青森県	67	56	84%	486	189	16	2	693
岩手県	59	59	100%	882	1,037	201	2	2,122
宮城県	71	65	92%	591	229	171	0	991
秋田県	69	52	75%	565	895	105	0	1,565
山形県	44	44	100%	891	335	29	10	1,265
福島県	90	83	92%	589	200	14	0	803
茨城県	85	84	99%	1,920	1,235	117	2	3,274
栃木県	49	49	100%	1,124	1,115	49	0	2,288
群馬県	70	70	100%	747	608	46	0	1,401
埼玉県	92	88	96%	1,212	334	40	0	1,586
千葉県	80	78	98%	990	1,612	60	0	2,662
東京都	63	63	100%	1,353	2,418	27	1	3,799
神奈川県	37	37	100%	743	33	4	0	780
新潟県	112	101	90%	1,389	1,117	118	0	2,624
富山県	35	31	89%	491	356	12	0	859
石川県	41	41	100%	444	1,365	18	0	1,827
福井県	35	34	97%	300	1,061	20	0	1,381
山梨県	64	61	95%	606	541	20	0	1,167
長野県	120	99	83%	1,067	1,072	117	0	2,256
岐阜県	99	92	93%	753	896	24	0	1,673
静岡県	74	73	99%	1,027	1,266	61	0	2,354
愛知県	88	75	85%	936	152	48	0	1,136
三重県	69	67	97%	771	436	11	0	1,218
滋賀県	50	50	100%	420	928	92	0	1,440
京都府	44	40	91%	380	461	38	0	879
大阪府	44	37	84%	389	211	2	0	602
兵庫県	88	84	95%	586	844	29	0	1,459
奈良県	47	43	91%	615	989	21	0	1,625
和歌山県	50	49	98%	456	703	39	0	1,198
鳥取県	39	37	95%	415	490	36	0	941
島根県	59	55	93%	838	625	63	0	1,526
岡山県	78	49	63%	328	135	11	2	476
広島県	86	85	99%	738	395	33	1	1,167
山口県	56	53	95%	612	182	39	0	833
徳島県	50	46	92%	1,013	194	11	0	1,218
香川県	43	40	93%	261	289	4	0	554
愛媛県	70	51	73%	490	245	15	0	750
高知県	53	53	100%	401	308	12	0	721
福岡県	97	72	74%	824	589	40	1	1,454
佐賀県	49	47	96%	383	468	4	0	855
長崎県	79	69	87%	763	237	39	1	1,040
熊本県	94	81	86%	969	458	25	0	1,452
大分県	58	56	97%	667	621	14	0	1,302
宮崎県	44	44	100%	628	474	9	0	1,111
鹿児島県	96	74	77%	363	499	87	0	949
沖縄県	53	37	70%	250	70	5	0	325
合 計	3,252	2,882	89%	33,203	29,249	2,005	22	64,479

* 前回と今回の調査で巨樹・巨木林が確認された市町村の数

** 測定巨木総数：未更新・更新・新規データ

表一６ 林内の巨木本数

(単位：本)

都道府県名	測定巨木総 数*	林(並木)内の巨木本数**			合計
		実測	推定	小計	
北海道	878	70	2,213	2,283	3,161
青森県	693	19	33	52	745
岩手県	2,122	68	159	227	2,349
宮城県	991	66	5	71	1,062
秋田県	1,565	20	15	35	1,600
山形県	1,265	43	343	386	1,651
福島県	803	48	305	353	1,156
茨城県	3,274	220	17	237	3,511
栃木県	2,288	71	13,138	13,209	15,497
群馬県	1,401	74	110	184	1,585
埼玉県	1,586	33	22	55	1,641
千葉県	2,662	102	121	223	2,885
東京都	3,799	37	56	93	3,892
神奈川県	780	49	0	49	829
新潟県	2,624	139	100	239	2,863
富山県	859	102	125	227	1,086
石川県	1,827	132	0	132	1,959
福井県	1,381	0	20	20	1,401
山梨県	1,167	107	48	155	1,322
長野県	2,256	174	410	584	2,840
岐阜県	1,673	31	5	36	1,709
静岡県	2,354	96	142	238	2,592
愛知県	1,136	324	32	356	1,492
三重県	1,218	21	1,330	1,351	2,569
滋賀県	1,440	70	10	80	1,520
京都府	879	182	146	328	1,207
大阪府	602	31	40	71	673
兵庫県	1,459	46	49	95	1,554
奈良県	1,625	216	1,138	1,354	2,979
和歌山県	1,198	14	11	25	1,223
鳥取県	941	31	21	52	993
島根県	1,526	39	142	181	1,707
岡山県	476	39	73	112	588
広島県	1,167	24	5	29	1,196
山口県	833	14	12	26	859
徳島県	1,218	2	39	41	1,259
香川県	554	0	10	10	564
愛媛県	750	3	58	61	811
高知県	721	87	50	137	858
福岡県	1,454	68	89	157	1,611
佐賀県	855	22	13	35	890
長崎県	1,040	46	390	436	1,476
熊本県	1,452	16	52	68	1,520
大分県	1,302	24	89	113	1,415
宮崎県	1,111	3	5	8	1,119
鹿児島県	949	22	0	22	971
沖縄県	325	3	10	13	338
合 計	64,479	3,048	21,201	24,249	88,728

* 測定巨木総数：未更新・更新・新規データの合計

** 林(並木)内の巨木本数：測定巨木総数以外に本数を調査したもの

表－7 市区町村別 巨木本数

(単位：本)

順位	都道府県名	市町村名	未更新データ	更新データ	新規データ	総計
1	東京都	西多摩郡奥多摩町		35	856	891
2	東京都	三宅支庁御蔵島村		4	645	649
3	秋田県	仙北郡角館町		31	413	444
4	熊本県	熊本市	141	9	198	348
5	栃木県	日光市	327			327
6	静岡県	静岡市		323		323
7	千葉県	八日市場市	78	21	211	310
8	石川県	金沢市		275	9	284
9	茨城県	水戸市	225			225
10	島根県	大原郡大東町	121		101	222
11	東京都	世田谷区		12	208	220
12	福岡県	福岡市		158	45	203
13	静岡県	富士宮市		200		200
14	栃木県	鹿沼市	196			196
14	奈良県	宇陀郡大宇陀町	196			196
16	新潟県	糸魚川市	192			192
17	京都府	舞鶴市		64	127	191
18	石川県	加賀市	173			173
19	秋田県	能代市		67	104	171
19	茨城県	常陸太田市	69		102	171
19	千葉県	市川市		26	145	171
22	茨城県	久慈郡里美村		11	157	168
23	京都府	京都市		105	57	162
24	千葉県	市原市		157		157
25	東京都	文京区		112	44	156
26	岩手県	盛岡市		155		155
27	茨城県	鹿島市	151			151
27	長野県	佐久市	151			151
29	栃木県	宇都宮市	2	147		149
29	東京都	港区		149		149
31	東京都	三宅支庁三宅村		11	136	147
31	長崎県	長崎市		125	22	147
33	茨城県	つくば市		142		142
34	静岡県	三島市		139		139
35	徳島県	徳島市		138		138
36	滋賀県	犬上郡多賀町	136			136
37	長崎県	佐世保市	134			134
38	山形県	山形市	133			133
38	石川県	小松市		132	1	133
40	奈良県	吉野郡川上村		46	84	130
40	大分県	日田市	130			130
42	北海道	札幌市		123		123
42	岩手県	陸前高田市		123		123
42	福井県	大野市		120	3	123
45	岩手県	二戸市		73	49	122
46	長野県	長野市		115	6	121
47	福井県	福井市	120			120
47	福井県	鯖江市		119	1	120
49	島根県	松江市	118			118
50	青森県	弘前市	117			117
50	岩手県	遠野市		117		117
50	新潟県	南魚沼郡六日町		117		117
50	佐賀県	佐賀市	117			117
54	奈良県	宇陀郡室生村	116			116
55	福島県	会津若松市		33	82	115
56	群馬県	桐生市	58		49	107
56	東京都	新宿区		107		107
56	奈良県	桜井市	13		94	107
59	富山県	西礪波郡福光町		106		106
59	徳島県	那賀郡木沢村	106			106
59	熊本県	上益城郡矢部町	105		1	106
62	静岡県	沼津市	105			105
63	茨城県	東茨城郡茨城町		29	75	104
64	鳥取県	八頭郡八東町	103			103
65	奈良県	吉野郡吉野町		46	55	101
65	大分県	玖珠郡玖珠町	101			101
67	宮城県	白石市		56	44	100
67	山形県	最上郡金山町		32	68	100
67	新潟県	東頸城郡松之山町	100			100
67	島根県	能義郡広瀬町	100			100
71	岩手県	花巻市		87	12	99
71	茨城県	鹿島郡旭村		12	87	99
71	長野県	更埴市		92	7	99

(単位：本)

順位	都道府県名	市町村名	未更新データ	更新データ	新規データ	総計
67	宮城県	白石市		56	44	100
67	山形県	最上郡金山町		32	68	100
67	新潟県	東頸城郡松之山町	100			100
67	島根県	能義郡広瀬町	100			100
71	岩手県	花巻市		87	12	99
71	茨城県	鹿島郡旭村		12	87	99
71	長野県	更埴市		92	7	99
74	栃木県	塩谷郡栗山村	98			98
74	福井県	三方郡美浜町		98		98
74	宮城県	西都市	97		1	98
77	長野県	小諸市		30	67	97
77	岐阜県	大野郡白川村	97			97
77	奈良県	御所市	59		38	97
80	神奈川県	小田原市		96		96
80	静岡県	清水市		6	90	96
82	秋田県	秋田市	95			95
82	大分県	大分市		90	5	95
84	栃木県	那須郡馬頭町	94			94
84	石川県	珠洲市		92	2	94
86	千葉県	千葉市		85	8	93
86	石川県	松任市		41	52	93
86	福井県	今立郡池田町	93			93
86	和歌山県	東牟婁郡那智勝浦町	93			93
90	東京都	大島支庁利島村		18	74	92
91	群馬県	吾妻郡吾妻町	91			91
91	新潟県	東頸城郡蒲川原村		63	28	91
91	山梨県	大月市		91		91
91	徳島県	美馬郡一宇村		3	88	91
95	岐阜県	益田郡萩原町	5	3	82	90
96	山形県	酒田市	89			89
96	和歌山県	有田郡清水町	89			89
96	徳島県	阿南市		89		89
96	大分県	玖珠郡九重町	2	85	2	89
96	鹿児島県	熊毛郡屋久町	89			89
合計			1,291	1,169	755	3,215

* 未更新データ：前回データ（1998年調査）のままのもの
更新データ：前回データを今回の調査結果により更新したもの
新規データ：今回の調査で新たに確認されたもの

表一8 全国の樹種別巨木総数

(単位:本)

順位	樹種	今回の本数 (2000年)	前回の本数 (1988年)	前回との 増減
1	スギ	14,869	13,681	1,188
2	ケヤキ	9,452	8,538	914
3	クスノキ	5,926	5,160	766
4	イチヨウ	4,855	4,318	537
5	スダジイ(シイノキ)	4,830	3,530	1,300
6	タブノキ、イヌガシ	2,124	1,907	217
7	クロマツ、アカマツ	1,677	1,729	-52
8	ムクノキ	1,641	1,465	176
9	ミ	1,605	1,364	241
10	エノキ	1,371	1,221	150
11	ミズナラ	1,259	665	594
12	カシ	971	854	117
13	ヒノキ	786	681	105
14	トナリ	783	647	136
15	カウラ	712	508	204
16	ブナ	688	504	184
17	イチガシ	434	420	14
18	シラカシ	413	363	50
19	エドヒガン、アズミヒガン	363	323	40
20	アカガシ	332	296	36
21	ウグイス	322	236	86
22	ハナレニレ	312	292	20
23	アコ	287	239	48
24	ツバキ	284	268	16
25	サカキ	268	240	28
26	ヤマザクラ	264	198	66
27	サウラ	245	190	55
28	イヌナギ	240	214	26
29	オオバヤナギ	220	204	16
30	イナ	217	190	27
31	クリ	210	163	47
32	ウツギ	209	187	22
33	クロガシ	199	182	17
34	カシ	180	139	41
35	シダレザクラ	171	98	73
36	コナラ	167	140	27
37	ツバキ	164	98	66
38	イブキ、ビロウ	178	166	12
39	ヤマモ	158	140	18
40	センダン	154	138	16
41	サイカ	152	130	22
42	コナラ、ハナ	148	127	21
43	ガジュマル	144	140	4
44	ハナダリ、セン	137	120	17
45	アサカ	133	132	1
46	カシ	118	107	11
47	デイゴ	101	100	1
48	アハ	94	82	12
その他の樹種(不明)		3,912	3,024	888
合計		64,479	55,798	

* 前回調査報告書の表一3との比較表だが、「クロマツ・アカマツ」、「スダジイ・シイノキ」を比較のために1種としたため、50種が48種となっている。

表一9a 幹周3m以下の巨樹の仲間(対象:幹周1m以上)

科	種名	3m以下の幹周 最大値(cm)	幹周3m以下 (本)	幹周3m以上 (本)	備考
クスノキ科	ニッケイ	421	5	6	
クスノキ科	ヤブニッケイ	390	3	2	
マメ科	ネムノキ	126	2	0	
ミカン科	カラスザンショウ	308	2	1	ミカン科のすべて
ミカン科	キハダ	650	0	12	#
ミカン科	ニッポンタチバナ	95	1	0	#
ミカン科	ヒロハノキハダ	157	1	0	#
ミカン科	ミカン	110	2	0	#
ミカン科	ユズ	140	2	0	#
ツゲ科	ツゲ	292	7	1	
ツツジ科	アセビ	180	3	0	ツツジ科で直立幹をもつもの
ツツジ科	ネジキ	92	2	0	#
合計			30	22	

表一9b 幹周3m以下の巨樹の仲間(対象:幹周2m以上)

科	種名	3m以下の幹周 最大値(cm)	幹周3m以下 (本)	幹周3m以上 (本)	備考
マツ科	カラマツ	600	5	52	
マツ科	ゴヨウマツ	460	4	3	
ヒノキ科	ネズミサシ	450	0	2	
ヒノキ科	ヒムロ	310	2	2	
ヤナギ科	オオバヤナギ	430	1	4	
カバノキ科	シラカンバ	305	0	1	
ブナ科	ウバメガシ	800	5	15	
モクレン科	シキミ	170	2	0	
ツバキ科	サカキ	340	4	1	ツバキ科のすべて
ツバキ科	サザンカ	433	2	1	#
ツバキ科	ツバキ	300	13	1	#
ツバキ科	モッコク	400	12	6	#
ツバキ科	ヤエツバキ	140	1	0	#
ツバキ科	ヤブツバキ	340	9	4	#
ツバキ科	ヤマツバキ	160	3	0	#
バラ科	アンズ	350	1	1	エドヒガン系のサクラを除くサクラ属のすべて
バラ科	イヌザクラ	800	6	14	#
バラ科	ウメ	560	5	8	#
バラ科	ウワミズザクラ	430	3	5	#
バラ科	オオシマザクラ	730	7	25	#
バラ科	オクチヨウジザクラ	200	1	0	#
バラ科	カスミザクラ	508	4	5	#
バラ科	サトザクラ	860	4	5	#
バラ科	バクチノキ	520	3	5	#
バラ科	リンボク	157	1	0	#
トウダイグサ科	ユズリハ	169	2	0	
ニガキ科	ニワウルシ	380	2	3	
ウルシ科	ハゼノキ	520	2	15	
シナノキ科	ヘラノキ	430	0	2	
シナノキ科	ボダイジュ	740	8	11	
ミソハギ科	サルスベリ	330	7	2	
ミズキ科	クマノミズキ	353	2	1	
ミズキ科	ミズキ	330	2	3	
カキノキ科	カキ	447	15	15	カキノキ科のすべて
カキノキ科	シナノガキ	230	1	0	#
エゴノキ科	アサガラ	312	0	1	エゴノキ科のすべて
エゴノキ科	エゴノキ	480	0	11	#
エゴノキ科	オオバアサガラ	431	0	1	#
エゴノキ科	ハクウンボク	312	0	1	#
モクセイ科	アオダモ	300	0	1	
スイカズラ科	サンゴジュ	130	2	0	
合計			141	227	

(3) 前回調査以降になくなった巨樹・巨木林

前回調査以降になくなった巨木は、前項の枯死 927 件及び伐採 540 件、消失等(データ重複等の6件を除く) 193 件の計 1,660 件である。その樹種別内訳は、最も多いはスギ 313 件、次いでケヤキ 301 件、マツ 226 件で、この3種で半数を超える。以下、シイ 92 件、イチヨウ 82 件、クスノキ 73 件、ムクノキ 67 件、エノキ 66 件、タブノキ 60 件と続く(表一10)。表一11は県別の集計表を示す。

1,660 件は、回答のあった追跡調査票 28,576 本の 5.8%に当たる。

表—10 樹種別枯死・伐採・消失等の巨木本数

(単位：本)

区分 樹種*	枯死	伐採	消失	合計
アコウ	6		1	7
イチイ	1			1
イチョウ	35	29	18	82
エノキ	46	17	3	66
カシ	32	4	1	37
カツラ	1	5	1	7
カヤ	3	8		11
クスノキ	19	30	24	73
ケヤキ	100	180	21	301
サクラ	21	3	5	29
サワラ	2			2
シイ	39	20	33	92
スギ	178	107	28	313
タブノキ	35	20	5	60
ツガ	3		1	4
トチノキ	4	1	6	11
ニレ	2	1		3
ヒノキ	12	3	1	16
ブナ	12	1	1	14
ホルトノキ	17	4		21
マツ	177	35	14	226
ミズナラ	5	2		7
ムクノキ	45	15	7	67
モミ	23	15	2	40
その他	108	39	21	168
不明	1	1		2
合計	927	540	193	1,660

* 樹種は我が国の代表的な24種及びその他に集約したもの

表—11 県別枯死・伐採・消失等の本数

(単位：本)

区分	枯死	伐採	消失	合計
都道府県				
北海道	8	4		12
青森県	7	20	5	32
岩手県	17	18		35
宮城県	16	17	2	35
秋田県	19	25	3	47
山形県	23	19		42
福島県	28	6		34
茨城県	25	28	4	57
栃木県	19	19	5	43
群馬県	8	27		35
埼玉県	24	32	2	58
千葉県	35	22	30	87
東京都	20	28	10	58
神奈川県	14	6	1	20
新潟県	53	39	3	95
富山県	19	7	1	27
石川県	31	23	23	77
福井県	13	7		20
山梨県	29	1		30
長野県	21	16	7	44
岐阜県	2	6		8
静岡県	19	30	9	58
愛知県	19	6	15	40
三重県	15	2	3	20
滋賀県	26	6	4	36
京都府	5	7		12
大阪府	8	1	11	20
兵庫県	27	4		31
奈良県	20	7	2	29
和歌山県	16	5	2	23
鳥取県	5	14	8	27
島根県	27	12		39
岡山県	11	4		15
広島県	29	12	1	42
山口県	10	2		12
徳島県	3	21		24
香川県	7	2		9
愛媛県	12			12
高知県	9	3	3	15
福岡県	29	10		39
佐賀県	9	6		15
長崎県	16	4		20
熊本県	57	1	3	59
大分県	48	7	7	62
宮崎県	34		28	62
鹿児島県	21	4	1	26
沖縄県	14			14
合計	927	540	193	1,660

4. 総括

巨樹・巨木林調査結果を全国的な視点から集計・解析した。とりまとめた内容を整理すると、以下のとおりである。

(1) 巨木の本数

前回調査の巨木本数と今回の調査で実際に測定され幹周等のデータが報告された巨木の総数は、単木、樹林及び並木を併せて 64,479 本であった。この内、単木は 33,203 本、樹林は 29,248 本、さらに並木は 2,005 本であった。樹林及び並木の実測本数約 3,000 本、推定本数約 21,000 本については、前回調査の推定本数約 68,000 本との重複も含まれると推測され、この点を勘案するとわが国の巨木の本数は約 132,000～156,000 本程度と推測される。

(2) 巨木の樹種

最も数が多かった樹種は、スギであり（14,869 本）、次いでケヤキ（9,452 本）、クスノキ（5,926 本）、イチヨウ（4,855 本）、スダジイ（4,830 本）の順で、前回と順位は変わらなかった。

(3) 巨木の大きさ

胸高直径 1～2m の巨木は約 29,000 本であり、全体の 78%を占めた。次いで 1m 以下のものが約 6,000 本（15%）、2～4.9m のものが約 2,500 本（6.5）となっており、5m 以上のものは 32 本（0.1%）であった。

(4) 巨木の所有者

巨木の所有者で最も多かったのは寺社で、全体の 57%を占めており、この割合は前回とほぼ同じであった。

(5) 巨木の周囲の状況

巨木の周囲の状況は、樹林が最も多く、樹林の内訳をみると、社叢等の小面積のものが 3,373 件（29%）、山林等大面積の樹林に位置するものは 3,249 件（28%）とほぼ同じであった。前回調査では比較的人目につきやすい社叢等の巨木が多く抽出され、今回は山間部にも広く調査が及んだ結果と考えられる。

(6) 巨木の健全度と周囲の状況等

巨木の健全度と周囲の状況との関係をみると、巨木の健全度が大きく影響を受ける傾向は明瞭とはいえなかった。この傾向は、前回とほぼ同じである。また、健全度と保護制度指定の有無との関係については、自然環境保全地域に指定されている場合に健全度がやや高い傾向がうかがわれた。

(7) 鳥類あるいは獣類の生息状況

巨樹・巨木林における鳥類あるいは獣類の生息状況については、生息が有りと報告されたものは鳥類で全体の 8.5%、獣類で全体の 4.1%と少なかった。

(8) 巨木の欠損と健全度

巨木の欠損の程度は、単木では欠損有りと報告されたのは 43%で、46%は欠損が無いと報告された。一方、樹林・並木では、欠損有りが 51%、無しが 38%と、欠損無しに対して有りが高かった。また、健全度については、巨木の 74%が健全度良と判断されたものの、不良のものも 20%と少なかった。樹種別にみると、サクラが特に健全度不良の割合が 44%と高い値を示していた。次いで前回同様にイチイ、カシ、カツラ、サワラ、シイ、タブノキ、ニレ、ミズナラ、ムクノキ等でも健全度が不良の割合が 20%以上にのぼっており、さらに今回はエノキ、カヤ、ケヤキにおいても健全度が不良の割合が 20%程度となっていた。

以下、樹種別の集計・解析は代表的な 24 種とその他の区分によった（8 ページ下段、参照）。

(9) 巨木と人文的項目

信仰対象等となっている巨木は全体の約 22%を占めた。樹種別にみると、スギ、シイ、サワラ、ヒノキでは信仰の対象となっているものが 3 割近いことが特徴的であった。また、独特の呼称・名称の有る巨木は全体の 16%程度を占め、前回同様にイチイ、サクラ、マツでは 30～40%が呼称・名称があるものであった。巨木にまつわる故事・伝承が有ると報告されたものは全体の 5.6%程度で、大半の巨木については故事・伝承等はなかった。

巨木の視認性については、多くの巨木（72%）は目立つものであった。

巨木の直接利用がされているのは全体の 5.5%で、76%の巨木については直接利用はされていないかった。

(10) 巨木の枯死・伐採・消失等

「枯死、伐採、消失等」について 1,660 件の報告があった。枯死は、雷による焼失、台風による倒木、マツクイムシ等の病虫害で枯れたもの等で、927 件であった。原因の記載のあったものを樹種別にみると、マツはマツクイムシによるものが 75%、スギやケヤキでは台風・大風によるものが共に 80%と極めて高い割合を示した。伐採等は、人為的な原因による伐採のことで、540 件が報告された。伐採の原因について記載のあった内訳をみると、再開発・区画整理に係るもの、道路拡幅等に伴うもの、ダム建設・河川改修に伴うもの、社殿改築や隣地建築工事等に伴うもの、日照や落ち葉の苦情・危険のため等であった。伐採した巨樹・巨木林について、保護指定制度の有無をみたところ 101 件 (19%) が有り、426 件 (79%) が無しで、保護指定制度が伐採に対してなんらかの歯止めになっていることがうかがわれる。消失は、対象となる巨樹・巨木林が現実にはその場所には存在しない、現存しない、切ってしまったらしい等で、193 件が報告された。1,660 件は、回答のあった追跡調査票 28,576 本の 5.8%に当たる。

(11) 巨木の保護制度指定の状況

巨木の保護制度指定の状況は、指定無しのものが約 54%、有るものが約 45%となっており、前回は「有り」が 29%だったのに対し約 1.5 倍となった。これは、今回の調査の回答者が市町村であるため、保護制度について把握していたことが影響したものと考えられる。指定されている保護制度の内容としては、天然記念物等の指定が最も多かった。胸高直径別に保護制度指定の有無をみると、胸高直径が 2m 以上のものについては保護制度指定があるものの方が多く、これは前回と変わらない。一方、胸高直径が 2m 以下の樹木については、単木・樹林・並木とも保護制度の指定がない方が多かった。樹種別にみると、イチイ、カヤ、サクラは天然記念物に指定されているものが多かったが、ブナ、ミズナラでは自然公園内にある場合が多く、これは前回と変わらなかった。

(12) 全国最大級の巨木の分布特性

幹周（株立ちのものは主幹）が 12m 以上の巨木 117 本の都道府県別内訳（表-12）にみると、39 都府県に分布し、その中で鹿児島県が 13 本と最も多く、次いで山形県、静岡県、福岡県が各 7 本、青森県が 6 本、岐阜県、沖縄県が各 5 本と続く。

各都道府県毎の最大級の巨木（表-14）は、樹種が比較的限られており、中でもクスノキ、スギ、イチヨウ、カツラの出現する割合が高かった。前回と比べると、イチヨウよりも多かったケヤキは減少した。

樹種別内訳（表-15）をみると、出現する樹種は 10 種で、クスノキが 48 本、スギ 24 本、イチヨウ 18 本でこの 3 種で全体の 3/4 を占め、以下カツラ 11 本、ガジュマル及びケヤキが 5 本、アコウ・スダジイが 2 本、イチイガシ・トチノキが 1 本であった。

わが国の代表的な樹種 24 種について、樹種別に最大級の巨木を整理した結果、その多くが分布する県は、長野県（19 本）、次いで鹿児島県（18 本）であった。以下、山形県、福島県、東京都が 12 本、青森県及び沖縄が 9 本などであった。また、大都市（政令指定都市）で巨木の本数が多かったのは、東京（23 区）が測定本数 1,205 本で最も多く、次いで福岡市（203 本）、京都市（162 本）、札幌市（123 本）の順であった。

(13) 巨木と人との関わり

巨木と人との関わりについて、故事・伝承について報告（新規データ）のあった 295 件について整理した結果、歴史的な人物や事件のいわれを伝えるものが 109 件と最も多く、次いで災難から逃れる等のご利益があったり願を掛けるものが 99 件などであった。